

の日」と定めた。本市の(仮称)食育推進会議の具体と推進基本計画作成までのスケジュールは。

答 (仮称)食育推進会議の具体は、ふくやま健康生き活きネットワーク会議の構成員を基本に検討しており、関係団体などと協議し決定していく。

推進基本計画策定のスケジュールは、本年度中に(仮称)食育推進会議を立ち上げ、19年度に市民健康意識調査を実施し、計画を策定する予定である。

神辺町の道路整備

(新政クラブ)

問 神辺町の交通基盤はまだまだ脆弱で、合併建設計画に含まれる国道福山上御領線の早期整備と、国道313号のバイパス建設が望まれるが、今後の計画は。

答 県道福山上御領線は、下竹田交差点から誠和団地入り口までを事業区間とし、本年度より用地取得事務に入っており、進捗率は約30%で、完成は平成20年代前半と聞いている。

国道313号のバイパス建設は、岡山県境側から一部供用開始しており、残りの区間の用地取得の進



早期開通が望まれる国道313号バイパス

捗率は約35%である。両路線の早期完成に向けた事業の推進については、県や国に要望していく。

◇関連質問

- ・合併建設計画に基づく公共下水道整備 (公明党)
- ・神辺のまちづくりについて (日本共産党)

市立四年制大学の必要性

(水曜会)

問 市長は、今議会の提案説明で、市立女子短期大学を発展改組し、四年制大学を設置する方針を示された。大学設置について、いろいろ検討されたと思うが、市立大学を設置する必要性は。

答

市立女子短期大学が培ってきた知的財産や人的ネットワークなどは、本市の子育て支援環境の充実などに大きな役割を果たしており、本市の特色を生かしたまちづくりを推進するためには、幼児教育の研究拠点を形成することが必要である。

また、地域の優秀な人材を発掘し育成するためには、新しい教育研究分野を設け、知的拠点を充実することが必要で、本市の将来にとって大きな意義があると考え判断した。

◇関連質問

- ・地域の活性化などにも貢献する四年制移行 (市民連合)
- ・四年制化の意義 (公明党)

安心・安全のまちづくり

(誠友会)

問 市長は提案説明で、わが国の平和を脅かす事態が継続している現状を憂慮されたが、見守りボランティアのおかげで、子どもたちが安全に登下校できるのもそうであるように、たくさんの方がそれぞれの立場で、わが国の平和を守り、また、国民、市民が安心し

て安全に暮らせるよう尽力いただいていることを忘れてはいけないと思うが、考えは。

答 平和非核都市宣言を行った自治体の長として、恒久平和の実現のために全力を投入してきた。

安心・安全のまちづくりについては、平成17年広島市で起きた女子児童殺害事件を踏まえ、ソフト・ハード両面に対応してきた。

子どもの見守りなど、改めて市民の皆さまのご協力に感謝する。

◇関連質問

- ・安心・安全の見守り活動について (水曜会)
- ・子どもたちの安全対策について (市民連合)



ボランティアによる登下校の見守り